

自然にやさしい

肥料登録番号 生第 83825 号

リン酸、カリ＋微量元素入り

発泡性 有機酸カルシウム資材

# カルビタ®PK

Calvita-PK

葉面散布用粉状液肥 1kg 入り



## 特 長

- 「カルビタ PK」は「カルビタ」(クエン酸カルシウム)にリン酸、カリ、苦土、マンガ、ホウ素、鉄、亜鉛、モリブデン、銅を添加した有機酸カルシウム資材です。
- みかんの果皮の体質強化、減酸に効果があるほか、デコポン等の疫病様症、水グサレ症予防にも効果が期待できます。
- 桃の着色向上、梨のみつ症、トマトの尻腐れ防止に。また、イチゴのチップバーン・果実軟化、メロンの醗酵果、葉菜類・根菜類の芯腐れ・ふち腐れ・葉緑の黄化など、カルシウム欠乏に起因する諸症状の予防に優れた効果が期待できます。
- 本材にはリン酸とカリが入っているので、果実の着果増、着色向上や、チッソ過多、日照不足による茎葉の徒長・軟弱化防止にもご活用ください。



製造元



**ロイヤル インダストリーズ株式会社**

〒201-0003 東京都狹江市和泉本町1-15-19

TEL 03(3489)1408 FAX 03(3489)9308

使用目的と使用方法

(500 倍にうすめたときの PH は 5.9、1000 倍のときの PH は 6.5)

海藻エキス「ケルパック 66」と混用散布するとさらに効果が高まります。

作物名		使用目的		散布間隔と回数	ケルパック 66 混用倍率
果 樹	りんご	ビターピット防止 油上り防止 さび果発生予防	果実の着色 硬度・糖度 貯蔵性の向上	1000 倍液を散布する場合は 落花後から 2～4 週おきに 3～5 回散布	3000 倍  梨・ぶどうには 1500～2000 倍
	かんきつ類	果皮の体質強化 寒害防止・減酸 デコボンの水グサレ症予防			
	梨	みつ症防止	徒長防止		
	さくらんぼ	裂果・うるみ果防止	耐病性の向上※		
	桃・ぶどう	裂果防止			
	柿	へたすき防止 果頂軟化防止			
果菜類	トマト・ピーマン	尻腐れ防止	果実の着色 硬度・糖度 貯蔵性の向上	定植後 1000 倍液を散布 以降収穫終わりまで 2 週おきに 1000 倍液を散布	2000～3000 倍
	なす	がく割れ防止			
	メロン・スイカ	発酵果防止	徒長・軟弱化防止	メロン・スイカでは 1000 倍液を 定植より 3～4 週後から 1～2 週おきに 2～3 回散布	
	いちご	チップバーン・芯止まり 果実軟化防止			
	きゅうり	落下傘葉・芯止まり 果形のくびれ防止	耐病性の向上※		
葉菜類	レタス・白菜 ほうれん草 キャベツ	芯腐れ・ふち腐れの防止 徒長・軟弱化防止 貯蔵性・耐病性の向上※		生育初期～結球前に芯部によく かかるように 1000 倍液を 2～3 週おきに 2～3 回散布	1500～2000 倍
根菜類	ダイコン にんじん かぶ・ごぼう	芯腐れ・葉縁の黄化防止 徒長・軟弱化防止 貯蔵性・耐病性の向上※		500～1000 倍液を本葉 1～3 葉期 に 1 回、間引き後に 1 回、主根肥大 期に 2～4 週あけて 2 回散布	1500～2000 倍
玉 葱		芯腐れ防止 徒長・軟弱化防止 貯蔵性・耐病性の向上※		500～1000 倍液を 2～3 葉期 に 1 回、移植 20 日後頃から 1 5 日おきに 3～4 回散布	1500～2000 倍
ネギ		首割れ・腹割れ防止 徒長・軟弱化防止 貯蔵性・耐病性の向上※		500～1000 倍液を 収穫 2～3 ヶ月前から 2 週おきに 3～4 回散布	2000～3000 倍
セロリ		ささくれ症・黒色芯腐れ防止 徒長・軟弱化防止		500～1000 倍液を 1～2 週おき に 3～4 回散布	1500～2000 倍
馬鈴薯		でんぷん質・貯蔵性向上 徒長・軟弱化防止、耐病性向上※		種いもを 500 倍液に浸漬、 着蕾期より 500 倍液を 3～4 回散布	1500～2000 倍
草 花		花芽の充実、徒長・軟弱化防止 ユリ・キク等の葉先枯れ防止		生育初期から 1000 倍液を 3～4 週おきに 2～3 回散布	1500～2000 倍

※組織中のペクチンとカルシウムが結合することによって細胞組織が強化され、生育が健全になるため耐病性が向上する。

成 分

(下表の成分はすべて水溶性です)

保証成分 (%)					含有成分 (%)				
リン酸	カリ	苦土	マンガン	ホウ素	カルシウム (CaO)	鉄	亜鉛	モリブデン	銅
6.6	4.4	1.1	0.59	0.45	17.3	0.18	0.05	0.05	0.01

注意事項

- 石灰硫黄合剤と混合すると、有毒ガスが発生し危険ですので混用しないで下さい。
- ボルドー液との混用散布または近接散布は、薬害が出る危険性があるので避けて下さい。ボルドー液散布園に散布する場合には薬害回避のため希釈液 100ℓにつき石灰を 1.2kg、または硫酸亜鉛を 200g 加用して下さい。銅水和剤と混用する場合は、薬害回避のため希釈液 100ℓに炭酸カルシウム（石灰）を 2～3 握り加用して下さい。
- 薬液槽を満水状態にしてカルピタ PK を投入すると、発泡し液があふれることがありますので、水は 7 分目程度にし、発泡がおさまってから水を足して下さい。農薬と混用する場合は、先にカルピタ PK を溶かし、後から農薬を加えて下さい。

包装形態

1kg ナイロンポリ袋入り ×20袋 ／ ケース